



# 大好き かたびら

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/katabira>

平成30年6月29日  
横浜市立帷子小学校  
学校だよりNo.4 7月号  
横浜市保土ケ谷区  
川辺町65-1  
Tel.045-335-5896

## 「型破り」と「型崩れ」

校長 齋藤 容二

早いもので、夏休み前の最後の一月を迎えようとしています。最近は何年以上に気候の変動が大きいように感じられ、子どもも大人も体調の管理が難しいようです。保護者・地域の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。日頃より変わらぬご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

学校では、6/24(日)25(月)の2日間、4・5年生が愛川宿泊体験学習を行いました。本校は2学年が一緒に活動しています。初めて宿泊学習となる4年生へ、前年度の経験を生かして5年生が支援し助言を行うことで、責任感、協調性、積極性等を育てていけると考えています。また、どの子にとっても保護者の元から離れて生活することで、自立心を育むことも大切な視点となっています。今回の体験学習でも、準備段階から2学年が活動を一緒に行い、一人ひとりの子どもたちが自分のめあてにそって充実した活動を行うことができました。学んだこと、成長した部分をこれからの生活に生かしていけることを期待しています。

先日、テレビを見ていたら金平糖（こんぺいとう）を作る菓子職人の話を取り上げられていました。その職人の場合、昔からの手作業で作っていて、形や色などの兼ね合いが難しく、勘が頼りの作業なのだそうです。そして、一人前になるには何年もかかるとのことでした。伝統的技法を継承して行うものであるが故に、マニュアル化や機械化を排し、あくまで勘を頼りにした手作業にこだわっているのでしょうか。しかし、他の産業も含め人手不足、後継者不足という現状や、今後の人口減少という現実を考えると、伝統技術の技やそこに含まれた精神をどのように継承していくとよいか、考えさせられることは確かでしょう。

日本の伝統芸能の一つに歌舞伎があります。徒弟制のようであり、技能の継承は口伝が中心です。親子であっても、芸に関しては師匠と弟子という厳然とした境のある関係です。芸の習得には日々の鍛錬があり、何年もかけてやっと一人前として認められるものであると認識しています。以前、ある歌舞伎役者の話を聞いていた中に、「型破り」と「型崩れ」という言葉の意味の説明がありました。その役者の話では、

「型破り」… 定型を十分に習得した上で、さらにその型を上回り他の人が行わないような芸を示すこと。

「型崩れ」… 定型を習得する前に自分なりの形を作り、独創的なようであるが、見栄えはよくないこと。

というところでした。芸の身に付け方から見れば、違いは大きなものがあります。歌舞伎に限らず、どの芸能、文化、スポーツ、産業等にも当てはまることなのでしょう。

さて、学校教育は文化の継承であり、かつ、これから自己や社会をよりよいものにしていくための力や心を育むものでもあります。子どもたちが、「言われたことを文句を言わずにただやればよい」訳ではなく、また、「やりたくないことはやらず、やりたいことだけをやればよい」のでもありません。我々大人は、子どもたちの個や集団としての力の伸長のために、現状をしっかりと見とり、目標を明確にした上で、基本を大切にしながら日々の教育活動に努めていきたいと思えます。

過日起こった大阪地震により、児童が学校施設のブロック塀の下敷きになって亡くなるという、あってはならない事故が起きました。被害に遭われた方々のご冥福や快復をお祈りするばかりです。学校としては校内施設の再点検を行うとともに、通学路での危険箇所の確認も行っています。通学路やまち全体の安全確認については、保護者や地域の皆様のご協力がなければできません。通学路等における安全について何かお気づきのことがありましたら、学校へご連絡いただけますと幸いです。子どもたち、まち全体の安全のためにも、是非お力をいただけますようよろしくお願いいたします。

本校のホームページを定期的に更新しています。「帷子小学校」で検索してみてください。また、「いじめの定義」「気をつけていただきたいこと」も資料として掲載しています。是非ご覧いただき、ご理解いただきたいと思います。

〈検索方法〉帷子小学校YYネット → ホーム → 学校経営 → 【徳】いじめ認知に関する考え → ダウンロード